

平成24年度 第37回関東中学校軟式野球大会

横浜市立寛政中学校 対 下妻市立千代川中学校

千代川中、集中打で全国の切符を得る!



埼玉県営大宮公園野球場 2回戦		第1 試合											
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
横浜市立寛政中学校	0	0	0	0	0	0	0						0
下妻市立千代川中学校	0	0	0	0	5	0	0						5

【審判】 球審 藤井 一塁 渡辺 二塁 佐藤 三塁 菅生
 【投手 - 捕手】 横浜市立寛政中学校 投手 一捕手 安室 一 平松
 下妻市立千代川中学校 投手 一捕手 石井 一 前野
 【長打】 二塁打
 三塁打 加園(千)
 本塁打

<試合経過>
 寛政中は初回先頭の吉岡がレフト前ヒットで出塁するも、後続が続かず無得点に終わる。2回、寛政中は先頭バッターの4番の平山がレフト前にヒットを打つも、チャンスを広げられず。一方の千代川中は3回ワンアウトから8番静谷が内野安打で出塁、続く小堀が四球を選び、1・2塁のチャンスをむかえ、ワイルドピッチの間に2・3塁とし、1番川崎がライトライナーを放つが2塁ランナーが戻れずゲッツでチャンスをいかせず。4回、ツーアウトから3番安室がレフト前にヒットで出塁するも4番平山は内野ゴロに沈む。5回千代川中はワンアウトから6番齊藤がエラーから出塁、続く7番塚越がヒット・8番静谷がバントヒットでワンアウト満塁のチャンスをむかえ、9番小堀は四球を選び押し出しの先制点を奪う。なおも、野選や3番加園の3ベースヒットなどで一挙5点を挙げる。千代川中の投手石井は終始緩急をつけたピッチングで3安打完封の好投をした。

横浜市立寛政中学校										
打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	6	吉岡 嵩斗	3	2	1	0	0	1	0	0
2	7	岸本 一成	3	3	0	0	2	0	0	0
3	1	安室 朝秀	3	3	1	0	1	0	0	0
4	5	平山 和樹	3	3	1	0	0	0	0	0
5	8	荒木 勇哉	3	3	0	0	0	0	0	0
6	3	清水 雄登	2	2	0	0	1	0	0	0
7	2	平松 克人	2	2	0	0	1	0	0	0
8	9	大城 鷹	2	2	0	0	2	0	0	0
9	4	戸倉 輝	2	2	0	0	1	0	0	0
計			23	22	3	0	8	1	0	0



チームコメント

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
安室 朝秀	6	18	27	116	4	5	3	5

千代川中 佐次監督
 序盤のピンチを我慢しながらしのぐことができた。相手は打撃のあるチームなので投手の石井を中心に粘り強く試合が進められた。ランナーを出すと甘いボールが来ると思っていたので、チャンスをかすことができ良かった。全国出場を決めたので、次もうちらしい戦いをしていきたい。

下妻市立千代川中学校										
打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	8	川崎 駿	3	3	0	0	1	0	0	0
2	4	江崎 眞治	3	3	0	0	1	0	0	0
3	5	加園 叶	3	2	1	3	0	1	0	0
4	1	石井 大貴	3	3	0	0	0	0	0	0
5	2	前野 広夫	3	3	0	0	1	0	0	0
6	3	齊藤 健太	3	3	0	0	1	0	0	0
7	6	塚越 純也	3	3	1	0	1	0	0	0
8	9	静谷 広樹	2	2	2	0	0	0	0	0
9	7	小堀 兼矢	2	0	0	1	0	2	0	0
	7	江原 通仁	0	0	0	0	0	0	0	0
計			25	22	4	4	5	3	0	0

千代川中 前野主将
 いつも通りのプレーをしていこうと呼びかけた。スタンドと一体となって戦うことができた。次もベストプレーをしていきたい。

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
石井 大貴	7	21	24	106	3	8	1	0

寛政中 高木監督
 選手はここまで辛抱強く戦い、本当によく頑張ってくれた。